

ジェネリック医薬品通知 実施状況 経緯

平成28年6月 ライオン健保組合

回	通 知 発送月	効 果 確認月	通 知 対象者 (人)	転換者 (人)	転換率	想定効果額 年間(千円)		効果額 (円)	ジェネリック医薬品割合 ※()カッコ内は全国平均:厚労省				
						10割	健 保 負担分	(3か月)	薬剤費		使用数量		全国平均 (厚労省)
6	26年1月	26年6月	540	79	14.6%	10,757	7,563	351,633	14.6%	(11.7%)	34.2%	(31.5%)	H25/12
7	26年7月	27年1月	718	101	14.1%	14,181	9,957	320,219	14.1%	(12.7%)	34.3%	(35.5%)	H26/5
8	27年1月	27年6月	540	77	14.3%	11,839	8,287	383,920	15.9%	(13.7%)	55.9%	(58.4%)	H27/1
9	27年7月	28年1月	787	88	11.2%	13,768	9,689	342,011	16.0%	(13.7%)	59.7%	(58.2%)	H27/7
10	28年1月	28年6月	720	107	14.9%	15,366	10,910	374,333	16.9%	(14.2%)	65.4%	(61.5%)	H28/1

ジェネリック医薬品への切替え状況

1 ライオン健康保険組合での取組み

(1) 目 標

	ライオン健保組合	全国平均
ジェネリック 医薬品内 割合	65.4%	厚生労働省 80% (2020年度まで)

・切り替え周知実施

免除品： 悪性新生物、メンタルヘルス

改善金額： 300円/月 以上 年齢指定なし

<考え方>

- ・ ジェネリックは医療費節減(適正化)の一環として有効な手段。
- ・ ライオン健保組合の事業として、加入者から支持されている。
- ・ 活動を継続することが重要と考える。